

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日銀臨時金融政策決定会合)

2020/5/22

りそなホールディングス 市場企画部

〇概況

- ◆ 日銀は本日の臨時決定会合で中小企業等の資金繰り支援のための「新たな資金供給手段」の内容を決定
 - ◆ 緊急経済対策における無利子・無担保融資や新型コロナ対応の信用保証協会融資を対象とした資金供給手段を追加した（対象約30兆円）
 - ◆ 金融政策は現状維持であり、金融市場への影響は限定的
- ✓ 日銀は本日の臨時の決定会合を開催。前回4/27の決定会合で日本銀行として、中小企業の資金繰りを支援するために、政府の経済対策と連携した新たな資金供給手段を検討することが打ち出されており、本日の会合に至ったもの。
 - ✓ 対象は1) 緊急経済対策における無利子・無担保融資及び新型コロナ対応の信用保証協会融資及び 2) 1) に準じたプロパー融資。期間は1年以上で、利率0%で資金供給。対象は約30兆円。
 - ✓ 既に発表されている①CP・社債等の買入（残高上限：約20兆円）、②担保として差し入れられている民間債務を対象とした金融支援特別オペ（約25兆円）と合わせて総枠約75兆円の「新型コロナ対応特別支援プログラム」とした。期限は従来の9月から2021年3月末まで延長している。
 - ✓ 企業の資金繰り支援が日本銀行の喫緊の政策課題。**これまでの担保に加えて、貸出残高も日銀の資金供給の対象となり、政府と連携した日銀の企業支援規模が拡大。**
 - ✓ **金融政策は現状維持であり、金融市場への影響は限定的。**マイナス金利については弊害が大きいため日本銀行としては余程の円高進行がない限りは金利の深掘りは封印。また今後の懸念としては国債発行増に伴う金利上昇であり、その際は国債の買入オペの増額により微調整する方針であろう。

【新型コロナ対応特別支援プログラムの概要 期限2021年3月末】

オペ		内容
CP・社債	残高上限	合計約20兆円（CP・社債の追加買入枠をそれぞれ7.5兆円）
	社債残存期間	1年以上5年以下
	発行体毎上限	買入残高→CP5,000億円、社債3,000億円 保有割合→CP50%、社債30%
企業金融支援オペ	対象	1) 家計債務を含めた民間債務担保（対象担保約25兆円） 2) 貸出残高（対象約30兆円） ① 制度融資 ・緊急経済対策における無利子・無担保融資 ・新型コロナ対応信用保証協会融資 ②①に準じる プロパー融資（金融機関1先1000億円）
	対象先	系統会員を含めた金融機関等
	期間	1年以内
	適用金利	0% 利用残高に相当する当座預金に0.1%付利

【2020-2022年度の政策委員の大勢見通し（4月時点）】

(対前年度比、%)	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)	消費税率引き上げ・教育無償化政策の影響を除くケース
2020年度	▲5.0% ~ ▲3.0%	▲0.7%~▲0.3%	▲0.8%~▲0.4%
2021年度	+2.8% ~ +3.9%	0.0% ~ +0.7%	
2022年度	+0.8% ~ +1.6%	+0.4% ~ +1.0%	

【出所】日本銀行

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。